

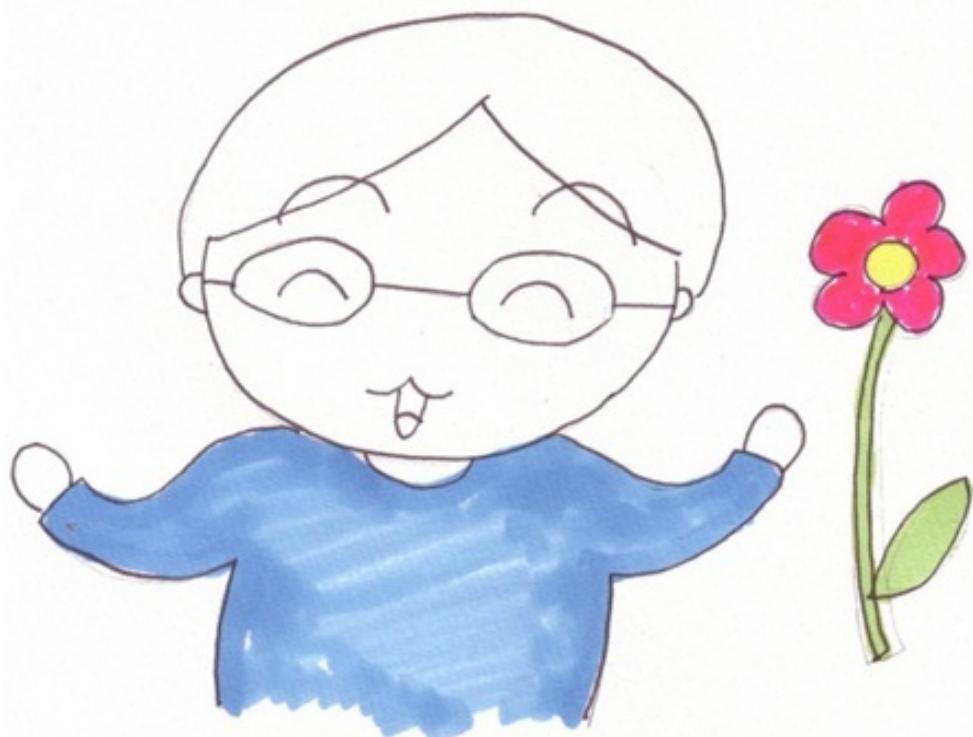
Bee



Happy

## 統合失調症 その2

隼瀬 あや





「んにちは

隼瀬あやです。

この書籍は『Bee Happy 統合失調症』の第2弾です。

私、隼瀬あやに関する説明はプロフィールや第1弾に書いているので、ぜひそちらも読んでください。

簡単にまとめると私の病状である統合失調症の日常のエッセイです。

政府に監視されていると感じています。  
ぜひ一読ください。



実はお話したい  
ことがあります



私には以前から妄想があつて、いつか白馬の王子様ではなく、いつか政府の人間が迎えに来てくれる信じていました。  
というか信じきっていました。



それで監視もわざとの咳払いも  
解決して、良い暮らしができると  
信じていました。

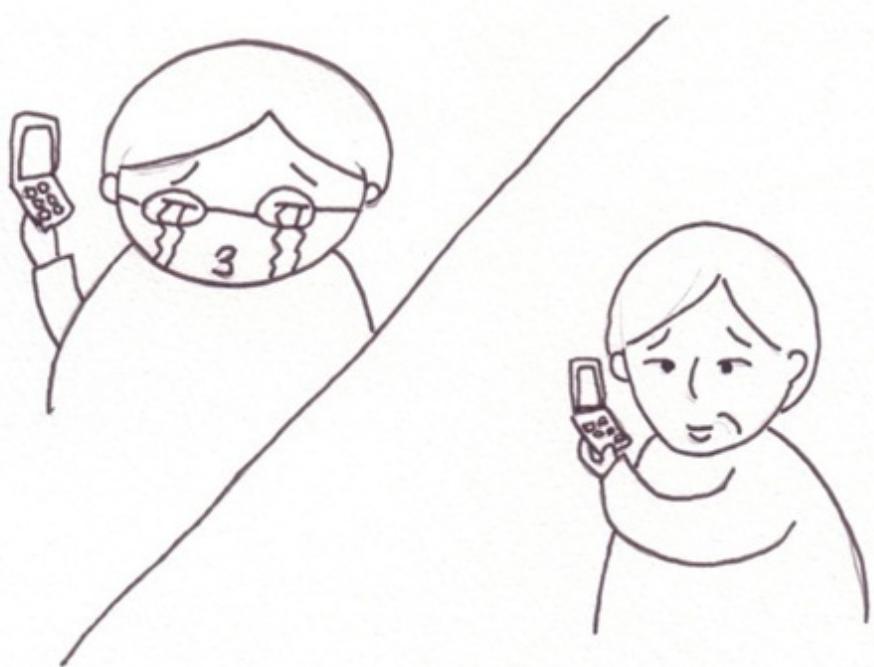
しかし、それがありえない話  
というのを気づいたのは  
つい最近でした。

病気に気付いた説でなく  
何もしないで待つてはいるだけ  
では、何も変化は起きないという  
ことに気が付きました。

下のイラストは解決すると信じ  
ていたあの頃です。



**いつかきっと監視も咳払いも  
すべて解決する！**



おばさんは私に  
尋ねました。

「具体的に良い暮らしって

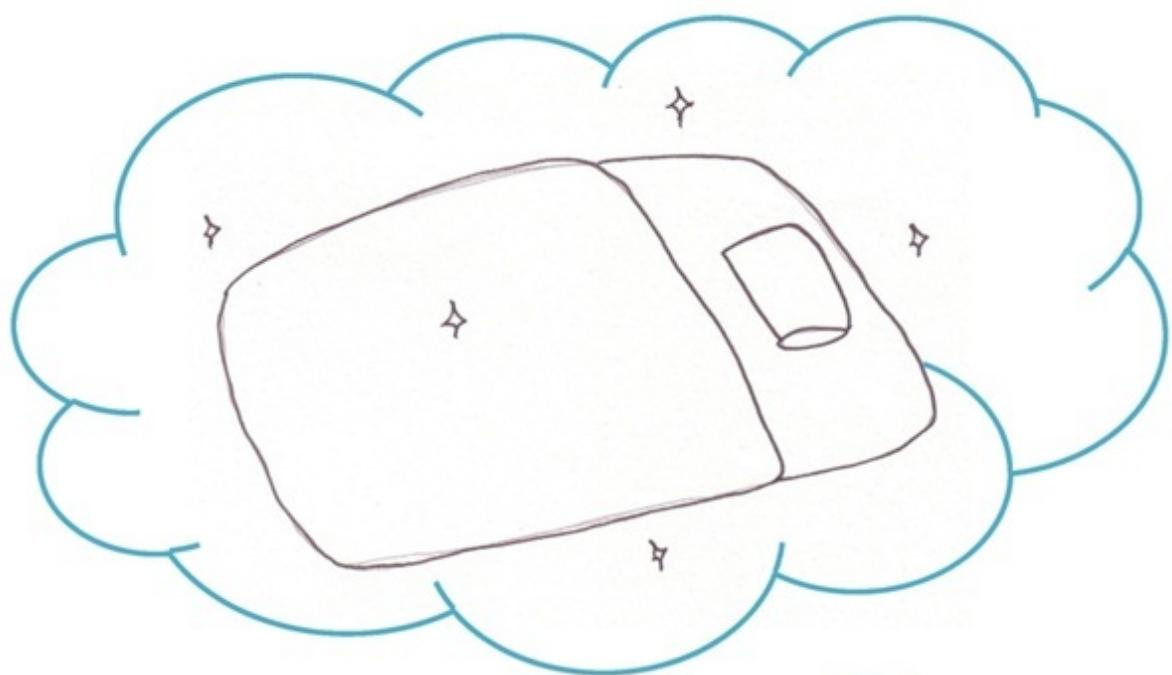
どういいうことなの?」

私は現実に目を向けないといけない  
状況でした。

でも良い暮らしのイメージはできていました。

おばさんに電話で話しながら

次のようなイメージを伝えました。



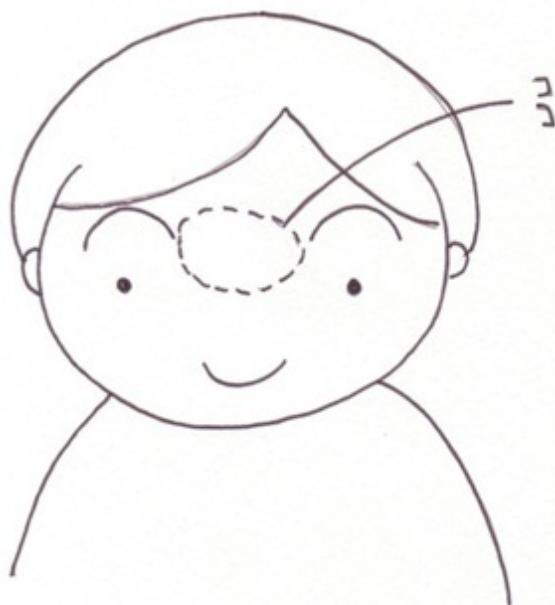
良い暮らしとはキレイ  
な、お布団で寝ること  
だよ

おばさん「へえー」

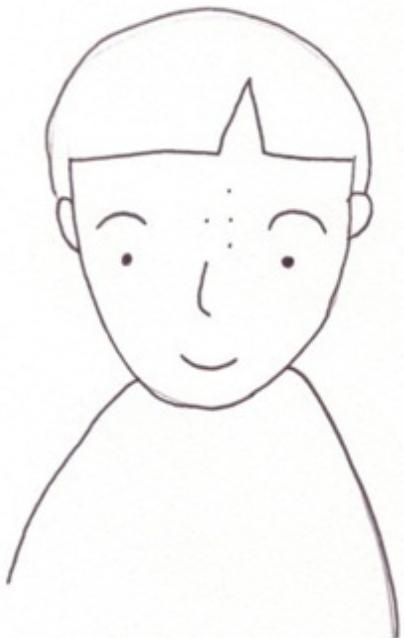


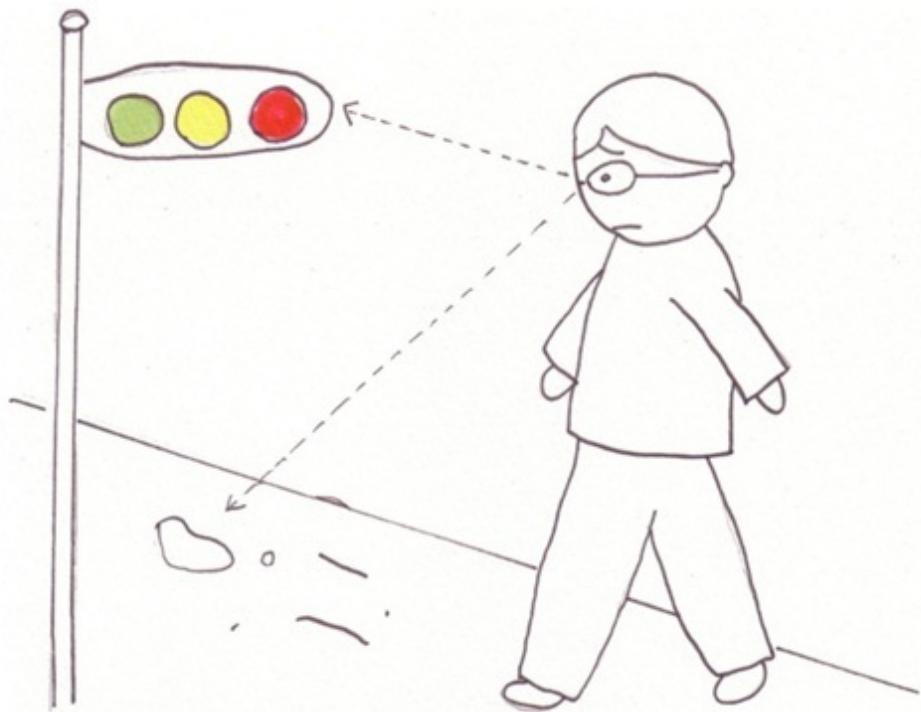
この話はこれでおしまい

薬の副作用で人の眉毛の間が  
気になります。テレビを見ていても  
人と話していても、人の眉毛の間が  
気になってしまいます。



ゆうすけさんの眉毛の間には  
4つのホクロがあつて私の心が  
落ち着きます。安心します。  
その4つのホクロは、まるで夜空に輝く  
星の様です。  
ひそかに星座のひとつだと思っています。





薬の副作用で気になるものが  
他にもあります、

世の中の方や、点や線、しみ、模様  
などが気になります。

目線を外そうと思っても、なかなか  
外せません。

道を歩いていると

気になるところが多くて  
歩くのが遅くなります。

視線が定まらないので、ちょっと嫌な  
副作用です。

私は監視されているのだから

実は神通力が備わっているのではないか  
と考えていました。だからその神通力で

宝くじが当たるのではないかと考え、

3年くらい同じくじを買い続けたことが

あります。

たまたまに当たることがあるっても

ごくわずか。

私には、やはり神通力などないと証明

されてしましました。

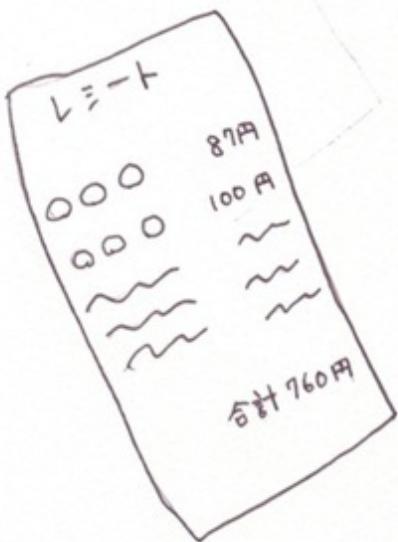
人間、地道にコツコツが一番です。

ひゃー当たれー



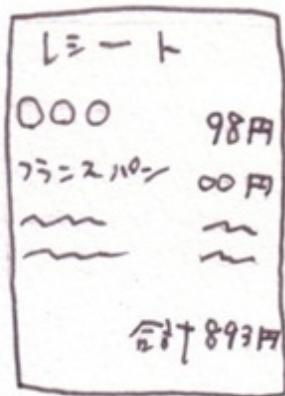
当たれー神通力で当たれー

ダイエットのために  
ゆうすけさんに  
レシートを見せなければ  
ならない

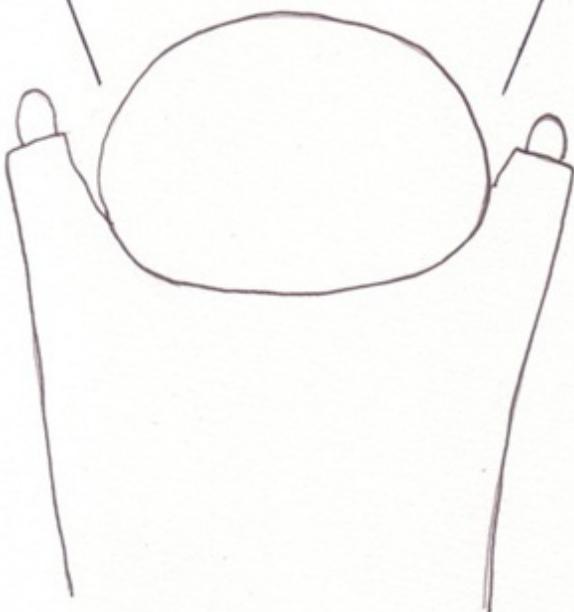


困ったなあ  
これじゃあ  
お菓子を、いつの間にか  
でやなこよ〜(心の声)





**なんと！**



そんな時、救世主が現れました。

フランスパン工房というお菓子を買って  
も、レシートにはフランスパンとしか表示  
されません。しめたーと思いました。

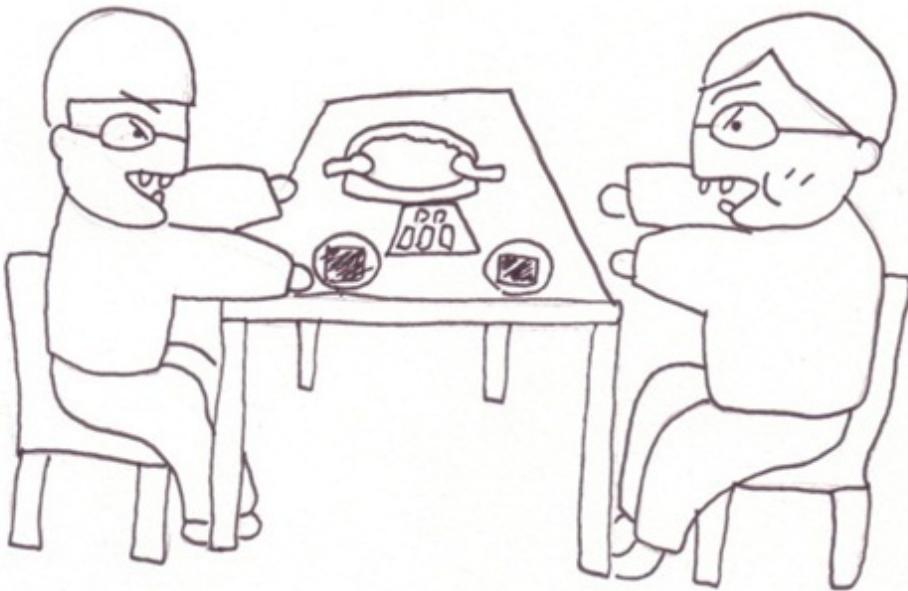
このお菓子は、一度美味しいです。

ふーん  
フランスパンか・・・



このワザを以前は  
たまに使っていました。  
今では、二人で決めた  
ルールで食後に必ず  
お菓子を食べています。  
それでもこのルールに  
してからほじつそり  
食べていた時より  
太りません。

がるーう



がるーう

普段、私たちはそんなにいいものを  
食べていません。

それなので、ゆうすけさんの実家に  
遊びに行つていじ馳走(手巻き寿司)を  
目の前にすると、

私たちはハイエナ状態になります。  
ゆうすけさんは

『あやうさん、遠慮してよ』  
と叫いますが、

私も引きません。

お互い、無言で食べすすめて行き、  
おひつが空になります。

手巻き寿司は本当に美味しいです。



慈悲の瞑想を毎日しています。

5年以上、毎晩欠かさず心の中で  
しています。

夢の中まで出でるようになりました。

常日頃、出でます。

私にじつにおまじないです。

私は幸せでありますように

生きとし生けるものが

幸せでありますように

しかし、毎日してくるのも闊わらず

心の底からこれができません。

いつかきちんとできることになりたいです。



**ビル・ゲイツ**



**ゆうすけさん**

私の場合、統合失調症の初期のころ  
ゆうすけさんがビル・ゲイツの息子だ  
と思っていました。

本気で考えていたので、今となつては  
とても恥ずかしいです。

ゆうすけさんの立派なご両親に出会つ  
たら、このおかしな思い込みに気づき  
ました。

どう考へてもゆうすけさんは日本人で  
す。ここまで大がかりな監視をしてい  
るのでビル・ゲイツぐらいしかいない  
と思っていました。ああ恥ずかしい。

東京の入院した精神科にはダンスセラピーなるものがありました。コミュニケーションを取りながら、踊る感じでした。他にも音楽セラピーというものがありました。



音楽セラピーは、セラピースタッフがピアノで母体となる音の伴奏をしてくれて、それに合わせて患者が適当に楽器を鳴らしていくものだった気がします。

精神科の中では有名な病院であるようでした。



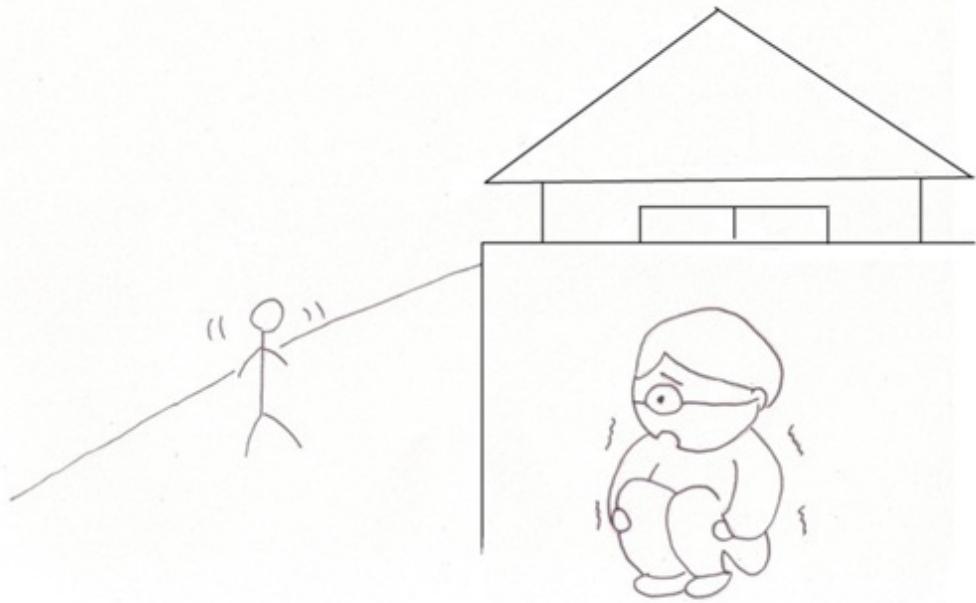


私は精神科の閉鎖病棟に入院していました時、ゆうすけさんに会いたくて病院から脱走しました。交通費のために毎週おこづかいを貯めていたので計画的犯行でした。病院の中庭への外出の許可が下りた時、チャンスは今しかないと思って中庭に出てから5分で脱走しました。当時の体重は90キロもありましたが、全力で走りました。追いかけてきた男性の看護師さんは昔、陸上をしていましたとか。

でもなんとか民家などの陰に隠れて逃げ切りました。

看護師さんの追走も振り切り、その後もなんとかなだめましたが、タクシーに乗つて一番近い駅まで行き、そこから3時間くらい電車を乗り継ぎました。ところが、ゆうすけさんとの同棲を始めてから1週間で入院してしまったので、びっくりしてもゆうすけさんに会いたかったのです。脱走してくるとやがて、手持ちのお金は少なく、携帯電話すら持っていないませんでした。ただクリスマスのお見舞いの時にゆうすけさんに貰ったシルバーファミリーのウェディングドレス姿のうさぎを持ってお守りしていました。公衆電話からゆうすけさんに連絡をして、その後、無事にゆうすけさんに会えました。

あ〜〜嬉しかったことを覚えていました。





ゆうすけさんは、戻ってちゃんと退院で  
きるまで入院したほうがいいと私を諭し  
ました。私はもう戻りたくありませんで  
した。

私がお風呂に入っていたら、ピンポン、  
警察の方が来ました。

「あやちゃんっていう太った女の子い  
る?」とゆうすけさんは聞かれたそうで  
す。しばらくお風呂から上がるまで警察  
の方は待っていてくれました。それから、  
私とゆうすけさんは警察へ連行されました。  
なぜなら保護入院は自分の意志だけ  
では勝手に退院できないからです。



ゆうすけさんと一人で警察の方の車に乗り警察署に行きました。しばし、ゆうすけさんとの時間を楽しみました。じばらぐすると病院の人一人、連れ戻しに来ました。病院までの帰りのタクシーの中、両脇に看護師さんに掴まれながら氣まずい雰囲気のまま帰りました。みなさん、決して真似しないでください。ただ後悔はしています。ゆうすけさんに会えたのですから。病院の皆さんにも心配をかけました、その後、病院の方に怒られて退院まで外出許可は下りませんでした。でも合計約三ヶ月で退院できました。めでたしめでたし

## 『意味の無い能力』

なぜか動物園などの動物に見つめられることが多いです。気のせいではありますん。近所の野良猫などにも一度に何回も見つめられてしまい、嬉しいです。

生後間もない赤ちゃんにも見つめられることもあります。

いつも行く薬局に水槽があるのですが、そこで特定の魚がよく私に近寄ってきます。動物は私の知らない何かを知っているのかもしれないなと思います。

政府のみなさん、ぜひ教えて下さい！  
いつでも待っています！



こち  
見てるー

